

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

FUTURE DESIGN

vol. **46**

安全で快適なエレベーターの
未来をデザインする

2 0 1 6

2020



2000



1980



1960



特集●交通と都市の未来形
快適性・安全性・安心感から見る
進化の軌跡

エレベーターは

50

年間で
どこまで進化したか

東芝エレベータ株式会社
TOSHIBA ELEVATOR AND BUILDING SYSTEMS CORPORATION

第10回未来エレベーターコンテスト 開催のご案内

未来のエレベーター・エスカレーターの形を学生の方々から募る「未来エレベーターコンテスト」が今年も実施されます。

コンテスト公式サイトにおいて、7月1日にテーマを発表し、9月末まで作品を募集しますので、学生の方々にはふるってご応募ください。

公式サイトURL : <http://www.toshiba-elevator.co.jp/elv/newsnavi/volumes/contest/index.html>



昨年の最優秀賞
「High Velo-city」

（ アンケートにご協力ください ）

『FUTURE DESIGN』vol.46 に対するご感想をお寄せください。「屋久杉が喜ぶ製品づくり」をポリシーとする山王産業の扇子「千年の風」（サイズ21cm、無塗装）を抽選で10名様にお送りします。

「千年の風」は、伐採後の切り株や倒木などのすでに寿命を終えた屋久杉から職人が手づくりした製品で、2010年鹿児島県地域特産品コンクールで優秀賞を受賞しました。「千年の風」からは木の心地よい香りが漂ってきます。



- 応募方法
同封のがきまたはFAX用紙、E-mailでご意見をお送りください。
- 締め切り
2016年8月31日到着分まで有効。

東芝エレベーター株式会社 FUTURE DESIGN

vol.46 2016

2016年5月31日発行 発行 東芝エレベーター株式会社 広報室

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

電話 (044)331-7001

URL <http://www.toshiba-elevator.co.jp>

E-mail elevator@po.toshiba.co.jp

制作 有限会社イー・クラフト+有限公司ベル・プロダクション デザイン 手塚みゆき
印刷会社 株式会社メディア グラフィックス



地球環境に配慮した植物油インキを使用しています。

FUTURE DESIGN

vol. **46**
2016

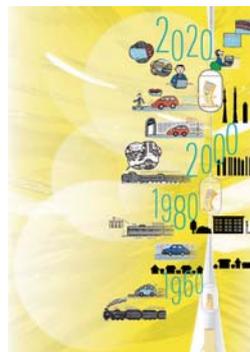
安全で快適なエレベーターの
未来をデザインする

CONTENTS

- 03-09 特集●交通と都市の未来形
快適性・安全性・安心感から見る進化の軌跡
エレベーターは50年間で
どこまで進化したか
- 10-11 連載●お江戸の楽しい歩き方 第3回
本所深川周辺
- 12-13 連載●私の忘れられない本・映画・音楽 第12回
サヘル・ローズさん
- 14-15 連載●がんばる地方都市 第10回
鹿児島県鹿屋市 柳谷集落
- 16 連載●おもて菓子 第6回
鹿屋んおじゃったもんせ

※2016年4月に発生した熊本地震の被災地にお住まいの方々に、心からお見舞い申し上げます。

【表紙解説】



ビルやマンション等を上下移動する際、私たちはふだん、あまり意識せずにエレベーターを利用しています。しかし、昔のことをちょっと思い出してみると、古いエレベーターと新しいエレベーターとで、快適性・安全性・安心感がずいぶん変わったことに気づかれるのではないのでしょうか。街並みや電車、自動車も変化するのと同様に、エレベーターも刻々と変化し、常に進化し続けています。この50年間でどう変わったのか、エレベーターを中心とする“時間の旅”にご案内します。

快
適
性

キーワード ①

乗り心地をよくする
工夫が見えない部分
にもいっぱい!



安
全
性

キーワード ②

もっと災害に強くて、
安全性の高いエレベーター
にしたいなあ。



特集●交通と都市の未来形

快適性・安全性・安心感から見る進化の軌跡 エレベーターは 50年間でどこまで進化したか

今年、東芝が昇降機事業を開始して50周年という節目の年に当たる。
東芝が昇降機事業に参入した1960年代の日本といえば、まさに高度経済成長期。
1970年代に入ると、大都市部で高層ビルが次々と建ち始め、
それに伴い、エレベーターの導入数も急激に伸びていった。
では、この50年間でエレベーターはどのように進化し、現在の姿になったのだろうか？
今回の特集は、快適性・安全性・安心感という3つの切り口から
エレベーターが50年間に進化してきた軌跡を探ってみたい。



エレベッチ
東芝エレベーターのイメージキャラクター

安
心
感

キーワード ③

今はスマホで稼働状況
をしっかりと確認してい
ます。



遠くから24時間
365日エレベーター
を見守っています。





キーワード①

快 適 性 の変遷



年でここまで変わった エレベーターの乗り心地

乗り心地も操作性も完璧とはいえなかった昔のエレベーター。それを大きく変えたのはインバーターとマイコン制御だった。エレベーターの快適性の進歩を世相とともに追ってみよう。

社会が求める快適性

一億総中流という言葉が生まれた1960年代末、社会のニーズは生活水準の向上にあった。しかし、時代とともにニーズは、心の充実へと変化。乗り物にも快適性や美しさが強く求められるようになり、エレベーターの乗り心地やデザインは他の乗り物同様、この間に大きく進歩した。

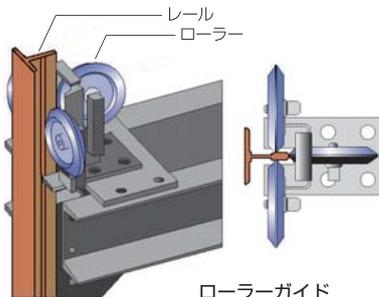
東芝エレベーター制御システム技術技監の中島豊によると、「昔のエレベーターはかごと床との位置合わせに時間がかかり、止まったと思ってもドアがなかなか開きませんでした」という。しかし、1979年のマイコン制御、1983年のインバーター制御の採用で状況は一変する。中島が「直流モーターを使った高速エレベーター並みのなめらかな速度調整が交流モーターでもできるようにまりました」と語るように、これらにより乗り心地は大きく改善した。

振動も劇的に低減

機械構造面の技術革新も進み、



ローラーガイド
ローラーガイドが回転し、レールに沿ってスムーズに動く。摩擦が少なく潤滑油は不要。ガイドシューに比べて音も静か。



ふだん目に見えない装置にも、振動を軽減する工夫がいっぱい！



中島豊 なかじま・ゆたか
東芝エレベーター
技術本部
制御システム技術技監



最新 こだわデザイン

細部までこだわりのある こだわデザイン



澤村 正樹 さわむらまさと
東芝エレベーター
東京支社技術営業部
技術営業第一グループ
グループ長

エレベーターの内装といえば、昔はステンレスや鋼板に化粧板シートを貼る程度でしたが、今は面白い提案をされる設計事務所さんが多いので、意匠の打ち合わせは楽しいですね。今までにないアイデアをいただきたい時には、すぐに工場に連絡し、できる限りイメージどおりのものがつくれるように打ち合わせをすることもあります。

中川 俊明 なかがわ・としあき
東芝エレベーター
技術本部
機器技術開発技監





エレベーターは
レールの上を動くので、
鉄道と似た者同士！



エレベーター走行時の振動も劇的に低減されている。

例えば、ローラーガイド。車でいえばタイヤに相当する重要な構で、東芝エレベーター機器技術開発技監の中川俊明は「圧力を加えるバネをローラーの中心に据えることで振動を軽減できました」と語る。

振動に対しては、モーターの回転で直接エレベーターを動かすギヤレスタイプを、1998年から標準形機種にも採用するなど、改良が続いている。かご室の振動を検知したら、おもりを動かして振動を打ち消すアクティブマスダンパも開発されている。

さらなる向上を目指して

乗り心地の測定方法も変化している。昔はオシロスコープやアンプなどを使っていたが、今は国際的に認められた一体型の測定器を床に置くだけで簡単に測定できるようにになった。評価方法も、単に振動の大きさだけを見るのではなく、人間が不快に感じるゆっくりとした揺れをより厳しく評価するなど、改善が進んでいる。

エレベーターの振動は現在、動いているかどうかかわからないほど低減された。しかし、さらなる快適性を追求するための取り組みは、今もなお続けられている。



直流ギヤレスエレベーター用巻上機

インバーター制御が登場する前は、交流モーターでは微妙な速度調整ができなかったため、直流モーターが全盛の時代だった。



高効率PMSMギヤレス巻上機

減速装置を用いず、モーターの回転で直接かごを昇降させるギヤレス巻上機は、振動や騒音を軽減できる。



渋谷ヒカリエ
(2012年開業)

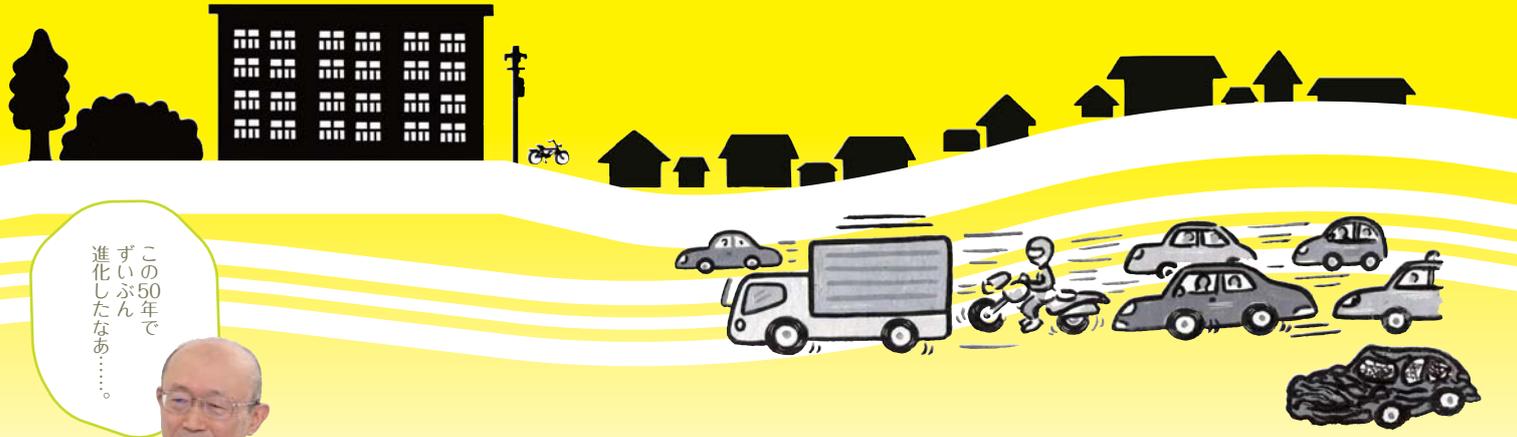
©Shibuya Hikarie



エレベーターかご室
ディテールにこだわったシースルーエレベーター。

パブルの頃はさらびやかで目を引くデザインが多かったのですが、最近是不燃木や和紙、石貼りなどを使った、シンプルだけれど本物志向が好まれるようになってきています。エレベーターの内装には燃える素材を使えないので、和紙を使う時にはガラスに挟むといった工夫を加えています。面によって素材を変える、あるいはかご室内で方向がわかるように、例えば内壁に「皇居」や「東京タワー」をイメージさせる地理的なデザインを使うなど、左右非対称のデザインも増えていますし、落ち着いた空間を求めて「照明を暗くしてほしい」とおっしゃる方もおられますね。

細部に苦勞するのがシースルーエレベーターです。昇降路に囲いがなく、吹き抜け空間をむき出しで走るエレベーターもありますから、外から見える機器や配線をどうやって隠すかが腕の見せ所です。建物の柱部分に隠したり、レールを建築デザインと合わせたりと、建物と一体化したシースルーを目指しています。特に、ビスをどう隠すかまでこだわった渋谷ヒカリエのエレベーターは、ぜひ皆さんに外側からも見ていただきたいです。



この50年で
ずいぶん
進化したなあ……。

安全性の取り組み

キーワード②

もしもの時に備える エレベーターの安全技術

乗り物で怖いのが地震や停電などの災害だ。もしもの時、どうやって安全を確保するのか。安全対策という視点からエレベーター技術の進展を振り返ってみる。

止める安全から動かす安全へ

昔のエレベーターの安全思想は、災害発生時に、かごを動かさないことだった。しかし、瞬時にかごを止めると今度は閉じ込めという新たな問題が発生する。「その流れが大きく変わったのは、1978年の宮城県沖地震の頃からです。災害時には、とにかくかご内の人を安全にかごの外に誘導する」と中島は語る。

現在は地震時だけでなく、停電時にもバッテリーを使って最寄り階まで移動することで閉じ込めを防いでいる。

長周期地震動への対応

エレベーターは構造上、揺れに弱い。これまで何度も地震に泣かされてきた。例えば、2004年の新潟県中越地震や2005年の千葉県北西部地震では、超高層ビルのエレベーターで主ロープや釣り合いロープの損傷事故を含め、多くのエレベーターの機器故障や閉じ込めが発生した。



P波感知器
昇降路内の地表に近い位置に設置され、地震が発生した初期段階のわずかな振動を捉える。

地震が発生した時でも、この小さな装置が安全を守っています。



最新 省エネエレベーター

最新型エレベーターの消費電力は油圧式の約3割になることも



菊山賢一 きくまけんいち
東芝エレベーター
技術本部
商品企画部
商品戦略担当 参事

省エネに対する社会的要請が大きくなるなか、エレベーターにも省エネニーズが高まっていると感じています。きっかけのひとつが1993年の省エネ法改正で、これによりエレベーターが建物の一部に含まれるようになったことです。

エレベーターのエネ効率率は、リレーを使っていた昔の機種と、マイ



最新のエレベーター
(東芝オーダー形エレベーター
エルクルーズ)



1990年代の
エレベーター
(東芝標準形エレベーター
エレメイト・ルミナスSQ)



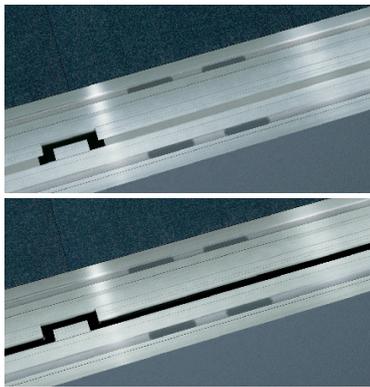
1967年に納入された
エレベーター1号機



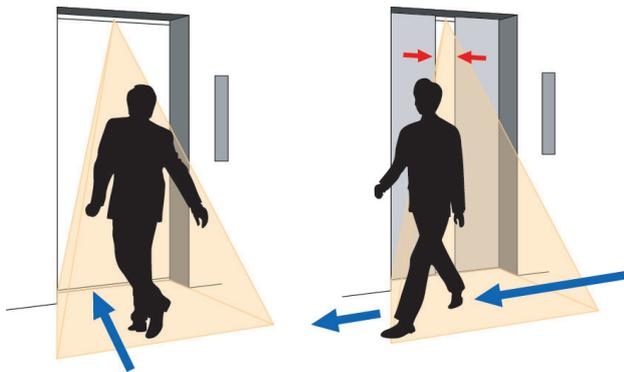
そのほか、乗降時にドアにはさまれないよう、開閉時に光が点滅する「お知らせドアサイン」や、ドアへの接触を警告する「お知らせドアセンサー」、画像解析技術で乗り場付近の人を通行人が乗客かを判断してドアをコントロールする「スマートドア」、乗り降りの際にエレベーターと建物の「すきま」をふさぐ「しきい間すきまレス」など、利用者に安心していただける機能も次々と開発されている。安全性向上に直結する機能は、災害以外にも大幅に進化している。

地震以外にも進む安全対策

そのため、機器技術面の災害対応は地震がきっかけとなって進められることも多い。中川によると、「地震によって機器がダメージを受けるのを防ぐため、法律も一部改正されました」という。法律改正により、昇降路のなかにロープやケーブルなどの引っかかり防止装置を装着するようになっただけでなく、地震初期微動(P波)の感知器設置も義務づけられた。その結果、早い段階でエレベーターを停止できるようになり、利用者の閉じ込め防止を強化できた。長期地震動に対応するため、ゆっくりと揺れる長周期振動を検知する加速度センサーも開発されている。



しきい間すきまレス
乗り降りの際、エレベーターと建物にある「すきま」をふさぐ。
上: しきい間すきまレス機能
下: 従来



スマートドア
先進の画像認識技術を用いて乗り場付近を歩いている人の乗降意思を判断する。ドアに向かってくる人を確認すると、ドアを閉めずに待機する。

受賞した際に授与された盾

コン・インバーター制御の最新機種では大きく違います。機械設備の面では、従来、高速エレベーターで使われていたローラーガイドを2012年から標準形機種でも採用していますが、従来のガイドシューに比べて、省エネで潤滑油も不要なため、省資源という面でも優れています。油圧式を最新機種にリニューアルした場合、消費電力が約3割に抑えられることもあります(当社比)。

細かい部分では、照明をLEDに交換するだけで消費電力や部品の交換頻度を低減することができます。

最新技術では再生電力を建物へ戻して有効利用することで省エネ性を高めます。2012年からは標準形機種にも有償付加仕様として採用され、翌年、エコプロダクツ大賞で最高の経済産業大臣賞と地球温暖化防止活動環境大臣表彰をダブル受賞しました。

安心感の向上

キーワード③

Before



東京遠隔監視センター
1985年に開設。ご契約いただいた建物に機器を設置し、ビル設備の異常と防災・防犯設備の異常を監視した。



保守作業
専門技術者による地道な点検作業によってエレベーターの安全性・快適性が維持され、安心感を醸成している。

After



東日本サービス情報センター
東芝製のエレベーター・エスカレーターを24時間365日休まず遠隔監視。故障が発生した際には、迅速かつ確実に対応する。

モニターには、さまざまな情報が表示されます。

スマートフォンは、今や保守作業者に欠かせない道具になりました。

「顔をしながらの対応は人間味があつてよかったです。1989年に導入された遠隔監視システムのおかげで、緊急時の対応は早くなりました」と語るのは東芝

マイコンの自己診断結果の確認へと大きく変わった。スマートフォンを制御盤に無線でつなぐため、導入当初は点検作業中に「スマホで遊んでいる」(松村)と誤解されたこともあったという。

エレベーターフィールド情報管理担当主任の巻島章吾だ。以前はかご内の緊急連絡ボタンが管理人室につながっていた。しかし、今はサービス情報センターの専門オペレーターが直接受けつけ、保守作業者を素早く派遣できるようになった。エレベーターの状態は遠隔監視されているので、不具合の連絡が入る前に保守作業者が対応することもできる。

「24時間365日昇降機の安全を見守り続けます」と松村が語るように、緊急時の対応も大きく進歩している。

「30年ほど前は、マンションやオフィスビルに必ず管理人さんが常駐していて、まず管理人さんに挨拶をしてからエレベーターの点検を行いました」
そう語るのは東芝エレベーター東日本サービス情報センター長の松村修だ。しかし、今では管理人常駐のビルがほとんどなくなっている。ビル管理全般で仕事のやり方が変化し、エレベーターも点検後に報告書を郵送する方法が変わってきている。
点検方法もリレーの動きの目視から、

変化する保守業務



松村修
まつむら しろう
東芝エレベーター
フィールドサービス事業部
昇降機サービス部
東日本サービス情報センター長



巻島章吾
まきしま しょうご
東芝エレベーター
フィールド技術センター
フィールド情報管理担当
主任

エレベーターのボタンの変遷とユニバーサルデザイン



野間口千恵 のまぐちちえ
東芝エレベーター システム部 機械システム担当

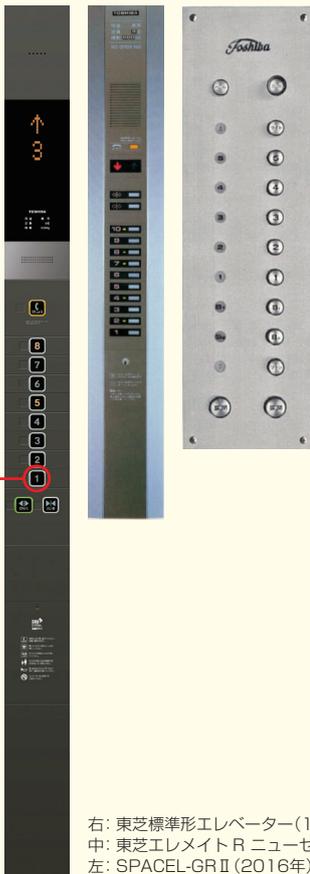
昔のエレベーターのボタンは、ただ並んでいるだけで、強く押し込まなければなりません。「開」「閉」ボタンが絵文字になったり、色を使ったりなど、使いやすさにこだわったボタンが出てきたのは1970年代後半からです。その後、マイコン制御やLEDが使われるようになり、ハイテク感のあるデザインが好まれるようになってきました。

2000年頃からユニバーサルデザインの考え方が取り入れられ、大型ボタンと、触ってわかる凸文字が使われるようになりました。以前は赤だった階数表示インジケータも、

オレンジやアンバーなど、より多くの人にとって見やすい色へと変わっています。最近では高級モデルでも、シンプルなデザインのボタンが好まれる傾向にありますね。

ボタンデザインの企画時には、視覚障がいのある方など、いろいろな方に触っていただき、意見をお聞きます。車いすで押しやすいパネルの位置を決める際には、実際に車いすに乗って検討しました。ボタンは誰もが触れるものですし、どなたでもわかりやすく使ってもらえるだけのデザインになるよう心がけています。

かご操作盤のボタンデザインの変遷



1
凸文字ボタン

右: 東芝標準形エレベーター(1970年)
中: 東芝エレメイトRニューセレブラムR形(1981年)
左: SPACEL-GRII (2016年)

突然の停電にも
しっかりと対応



阿部道臣 あべみちおみ
東芝エレベーター 技術本部
ニューセールス技術企画担当 商品企画部

トラブルで多いのはやはり停電ですね。ゲリラ豪雨や落雷が原因の大規模停電も含めて、いつ停電が起ころうと、利用者に安全に素早くエレベーターから降りていただけるよう対策を進めています。

昔は停電が起きるとエレベーターは即座に停止したため、どうしても閉じ込めが発生していました。そこで、1979年に開発された停電時自動着床装置「トスランダー」では、停電が起きるといったん停止し、その後エレベーターに付属するバッテリーから電力を供給することで、最寄り階まで安全に利用者運ぶことができますようになりました。当初「トスランダー」は有償付加機能だったのですが、2009年からは標準装備となっています。

また、2012年には、停電時に最大2時間運転を継続できる停電時継続運転機能「トスムーブ」を開発しました。2011年の東日本大震災後に計画停電が行われましたが、その際お客様から「エレベーターを利用できなくて不便」という声をお聞きしたからです。その後「トスムーブ」は、回生電力を利用することで省エネを実現したハイブリッド駆動システムと統合され、現在は「トスムーブNEO」という名称でご提



※低速運転で最大2時間利用可能

トスムーブNEO
昇降路内にバッテリーを設置し、停電時に自動着床するだけでなく、継続運転が可能となる。

供しています。「トスムーブNEO」は停電時にも停止せず、そのままバッテリーに切り替えて運転を続けます。エレベーター乗車中の利用者は停電が起きたことに気がつかないほどですので、安心してエレベーターを使っています。

お江戸の 楽しい 歩き方

第3回

本所深川 辺



門人 & 文

地図研究家
芳賀啓さん

タレント/歴史作家
堀口茉純さん
(愛称:ぼーりー)

はが・ひろく・1949年生まれ。東京の古地図や地誌の研究者で、東京経済大学客員教授。テレビ朝日「タモリ倶楽部」などのテレビ番組にも出演。主な著書に『江戸の崖 東京の崖』講談社、「古地図で読み解く江戸 東京地形の謎」二見書房など。

ほりぐち・ますみ・1983年生まれ。2008年に江戸文化歴史検定一級を最年少で取得し、「江戸」に詳しくすぎるタレント。お江戸ル(お江戸のアイドル)として知られる。主な著書に「TOKUGAWA 15」(章思社)、「UKIYO E 17」(中経出版)など。

① 新大橋



関東大震災の大火災でも新大橋は燃えず、非常経路として1万人もの人命を救ったとか。ついでにあだ名は「お助け橋」立派です。

② 隅田川左岸テラス



川辺の風が気持ちいい!

芭蕉庵があった場所

③ 芭蕉稲荷神社



都営地下鉄浜町駅

④ 万年橋



千葉県市川市行徳から塩を運ぶために江戸時代初期に開削された小名木川(おなぎがわ)そこに架かる橋が万年橋です。めでたい名前だな。

⑤ 清澄庭園



岩崎弥太郎が整備した回遊式林泉庭園。「江戸時代初期には徳川将軍の鷹狩の御殿があったのでは?」と師匠。当時は海辺のリゾートだったのかも!

⑥ 靈巖寺



⑦ 深川江戸資料館



このエリアには江戸情緒を感じる見どころがイッパイです。

時代小説の舞台へ!

今回は都営地下鉄浜町駅すぐそばの新大橋から散策をスタート。「江戸時代前期、隅田川には上流の千住大橋と両国橋しか架かっていなかったから、往き来がとても不便だったんだ。そこで徳川綱吉の母・桂昌院が架橋を提案して架けられたんだよ」と師匠。当時は今の位置より200mほど下流にあったそうです。

かつて橋があった場所のほとりには芭蕉稲荷神社が。俳聖・松尾芭蕉がこの近くの芭蕉庵に住んでいて

ありがたやいただいて踏むはしの霜

という句を残しています。新大橋によって、西側の消費活動が盛んな日本橋地区と、東側の生産活動が盛んな本所深川地区がダイレクトに結ばれて、人や物の往来がスムーズになりました。これは当時の人々にとって、とてもありがたかったんですね。時代小説にもたびたび登場する、江戸のランドマークのひとつだった重要な橋です。現代のレインボーブリッジみたいな感じ!?

江戸の町を、津波が襲った?

新大橋東側には歴史を感じ

8 深川公園



深川公園にひっそりと建つ警告板。1917(天正6)年の高潮の時は師匠の指先の場所まで水に浸かったんだって。ヒヤッ。

9 永代寺跡



江戸時代には門前町が賑わった永代寺も150年たてば……感慨深いです。

10 富岡八幡宮



横浜の富岡八幡宮(波除八幡)の分社としてスタートしたんだとか。

11 大横川・黒船橋付近



江戸時代に水路が多かった名残か、この辺りには川や親水公園が多く、地域住民の憩いの場になっています。

【弐】丸に對して縦(東西)横(南北)という意識を持っていました。「大横川」「横川」などの名称はこのことに由来します。



東京メトロ木場駅

12 黒船稲荷



今回師匠に教えてもらって初めて気がついたお稲荷さん! 『東海道四谷怪談』の作者・鶴屋南北の住居跡だそうです。

13 牡丹園+

古石場川親水公園

町名が「牡丹」に「古石場」だっ。ステキ!



14 洲崎神社



「波除の碑」が残る洲崎神社。私的には洲崎といえば洲崎パラダイスですが、今はまったく面影がありません。

【参】

「波除の碑」の1つがある洲崎神社は浮世絵にもよく描かれた観光地。人が住めない地域だったので海岸沿いの静かな風情が人気でした。

今回の締めの一句

波除の碑文剥落花芯の雨

若賀

若葉映ゆ川面を滑る和船かな

堀口



る見どころがめじろ押し。大名庭園の雰囲気が残る清澄庭園、松平定信のお墓がある靈巖寺、タイムスリップ気分を味わえる深川江戸資料館、江戸三大祭の一角を担う富岡八幡宮など……。江戸時代には海岸線も近く、物資を運ぶ水路が張り巡らされていたため、シーサイドリゾートとして賑わった地域だったんですね。

一方で、高潮の被害を受けやすい土地柄でもありました。特に、寛政3(1791)年には、津波と表現されるほどの大洪水が起こり、このあたりの住宅地が壊滅してしまつたのです。これを受けて幕府は土地を買い取り、人が住むことを禁止。2カ所に「波除の碑」を建てて警鐘を鳴らし続けました。

しかし、喉元過ぎれば何とやらで、明治以降には埋め立てが進んで住宅地化します。現在では海岸線が遙か南にせり出しているため、そんなことがかつてあったなんてまったく想像がつかえません……。ボロボロになつた「波除の碑」が災害の歴史を静かに物語っている気がしました。

映画が教えてくれた諦めないことの大切さ

サヘル・ローズ

さん（タレント・女優）

過酷な生い立ちから女優への道を目指す

情報番組のキャスター、レポーター、バラエティ番組等々、最近テレビで見かけることが多くなったサヘル・ローズさん。大きな瞳と細面の顔立ち、そして日本語の達者な外国人として、一度見た人は彼女のことを心にとどめているだろう。その明るいキャラクターからは想像もつかないほど、サヘルさんは過酷な道のりを生きてきた。

イランに生まれたサヘルさんは幼い時に家族をすべて失い、児童養護施設に預けられた。やがて今の養母に引き取られたサヘルさんは、8歳の時に縁があつて日本へとやってきた。

ペルシャ絨織りの実演販売で生計を立てる養母を助け、小学6年生の時から大人の化粧をして仕事を手伝った。中

学に入るとサヘルさんを待っていたのはいじめの日々……。

そんな彼女に芸能界への道が開けたのは高校3年生の時だった。ラジオ番組のオーディションに合格し、さまざまなレポーターの仕事が舞い込んできた。

大学進学後もレポーターの仕事が続けた。そして、3年生の就職活動で自分と向き合った時、思い出したのはかつてイランの施設で観た大好きな日本のテレビドラマ『おしん』だった。

「おしん役の小林綾子さんが喜怒哀楽をブラウン管のなかで表現していたのを、幼い頃、とても羨ましいと思ったんです。私は昔から自分の感情を外に出すのが苦手でした。でも役者なら、役としてそれができることに気がついたんです」

卒業後、本格的に芸能界に進んだサヘルさん。今は少し

ずつ役者の仕事も増え始めている。

一歩一歩着実に夢の実現に向かって

サヘルさんが仕事を続けていくなかで、強い刺激を受けた映画がある。それが車いすの天才物理学者S・ホーキング博士の伝記映画『博士と彼女のセオリー』である。

「ホーキング博士を演じた俳優エディ・レッドメインの演技はすばらしいものでした。最初は健康体の博士が、病状の進行に伴い、喋り方や首の曲げ方で意志を表すようになる。顔の表情が出せなくなる。と今度は眼だけで表現する。全身を使ったそのリアルな動作には胸が打たれました」

サヘルさんは、逆境のなかで博士が研究を続ける姿勢にも感銘を受けたという。「私は、諦めなければ必ず報

われるというこの作品のテーマから、続けること、諦めないことの大切さを改めて教えてもらったと思っています」

サヘルさんは、ホーキング博士の姿勢に自らを重ねる。諦めず続けていけば役者の道は開けてくる。この映画は彼女にそう語りかけていた。

サヘルさんには夢がある。いつか自分の出演映画を自分と同じような境遇にある施設の子どもたちに観てほしい。かつては自分と同じ場所にいる人が今は女優として活躍している、自分も頑張ればあなれるんだという希望を与えたい……。

昨年、サヘルさんがメインキャストを務めた映画『西北西』は、釜山国際映画祭でプレミア上映された。映画は今、日本で公開準備が進みつつある。一歩一歩ゆっくりと、彼女の夢は着実に実現に向かっている。



『博士と彼女のセオリー』
監督：ジェームズ・マーシュ
2015年日本公開
Blu-ray：1,886円＋税
発売元：NBCユニバーサル・エンターテイメント

あらすじ

理論物理学者スティヴン・ホーキング博士の実話に基づく伝記映画。ホーキング（エディ・レッドメイン）はケンブリッジ大学で学んでいた時に文学を学ぶ女子学生ジェーン（フェリシティ・ジョーンズ）と知り合い、2人は恋に落ちる。将来を嘱望されたホーキングだったが、ALS（筋萎縮性側索硬化症）を発症してしまふ。ジェーンの献身的な愛に支えられて、ホーキングは研究を続ける。やがて2人の間に子どもが生まれ、ホーキングもブラックホールについての論文を発表。彼の研究は次第に実を結んでいくが、一方でジェーンとの間には亀裂が生じ始めていた……。

レッドメインは本作でアカデミー賞主演男優賞を受賞。



サヘル・ローズ●1985年イラン生まれ。8歳の時に来日。高校時代からラジオのレポーターを務める。現在は、テレビ・ラジオ・映画・舞台等多方面で活躍中。映画出演した作品には、『ペコロスの母に会いに行く』『振り子』等がある。メインキャストを務めた映画『西北西』は年内公開に向けて準備が進行中。

かんばる 地方都市

第10回

鹿児島県鹿屋市 柳谷集落



20年目を迎える 自立した集落

20年目を迎える
自立した集落



柳谷自治公民館長
豊重 哲郎さん
とよしげてつろう

地域再生には、住民の心を揺さぶる感動や感謝の気持ちを共有できるリーダーの存在が不可欠です。

そして、リーダーは10年、20年先を見すえた施策のなかで、住民の不満や不安、不便さの解消に一つひとつ努めます。

すると、住民も納得して活動に参加するようになり、皆が主役の住民自治ができるようになると思います。



柳谷集落
ついでこ
なごころ

- 人口：278名／120世帯(2016年3月末現在)
- 概要：鹿屋市申良町上小原にある集落。鹿児島弁では「柳谷」を「やねだん」と呼ぶため、通称は「やねだん」
- 特徴：1996年から行政に頼らない地域づくりを推進。サツマイモや唐辛子、焼酎や豚味噌などの加工品を販売することにより、集落としては珍しく独自財源を確保
- 特産品：焼酎、サツマイモ、唐辛子、黒豚

ボーナスを支給する集落!!

鹿児島県鹿屋市には、国・県などに税を納め、さらに毎年一部の住民にボーナスも支給している集落がある。通称「やねだん」。典型的な中山間地域の集落だが、今や住民自治の成功事例として全国から注目を集め、毎年5000名以上が視察に訪れている。

今から20年前、「やねだん」は集落の余剰金がわずか1万円しかなかった。追いつめられた状況にあった。当時は特産品がなく、耕作放棄地も増える一方だった。この状況を打破し、リーダーとして住民を先導してきたのが、1996年から20年間柳谷自治公民館長を務めている豊重哲郎さんだ。

「集落機能を維持するには、行政



写真撮影：河野セイイチさん

TOPIC

誰もが気軽に集落内を探索できるようにするために、「やねだん」では2016年にレンタサイクルを完備した。これは移住者である写真家兼デザイナー・河野セイイチさんのアイデアだ。現在は、高齢者でも楽に利用できる電動アシスト自転車6台、マウンテンバイク4台、シクロクロスバイク3台が用意されている。

に頼らず、集落の自立を図ることが重要だと考えました。そこで、自分たちでできることは自分たちでやる住民自治、活動の原資となる自主財源の確保、余剰金が増えた場合は住民への還元——この3つをセットにして、地域づくりを進めようと思ったのです」

感謝のメッセージで集落が一つに

豊重さんがまず手がけたのは、耕作放棄地でサツマイモを栽培し、その販売益を自主財源に充てることである。「人を本気にさせるのは、命令ではなく感動」と考えていた豊重さんは自ら率先して動き、その活動に共感した地元高校生12名と一緒に畑を耕した。すると、高校生の



薩谷浩介の ここがポイント!

本当に暮らしやすい場所は、都会ではなくド田舎にある。本当の人材は、大組織にはなく草の根のなかにいる。「やねだん」を知るほど痛感されます。薩摩から明治維新が始まったように、日本人の暮らし方も鹿児島から境界から変革されていくのかもしれない。



2006年、再生した空き家を“迎賓館”と名づけ、アーティストの移住を促進する活動を開始。カフェレストランが併設されている迎賓館5号館は住民の憩いの場。

築120年の空き家だった迎賓館6号館。再生後は多目的工房として活用されている。囲炉裏は必見! 故郷創世塾の卒業生の寄せ書きも!



柳谷自治公民館内には、約8割の住民のイキイキした顔写真が掲示され、そのなかには今年ここで誕生した3人の赤ちゃんの笑顔も!

「やねだん」が商品化した初のブランド品・焼酎「やねだん」。住民が一体となってサツマイモ栽培に取り組んできた様子を伝えるため、ラベルには住民の写真が印刷されている。

写真撮影：河野セイイチさん



このパネルをデザインした移住アーティスト・河野セイイチさん。カメラマンとしても住民に愛されている。



韓国との交流がきっかけで唐辛子栽培も開始。焼酎に次ぐブランド品が完成した(左が唐辛子粉、右が二味唐辛子)。

もたに、こうすけ◎日本総合研究所 主席研究員。日本の全市町村を訪問し、地域特性を多面的に把握。登壇・出演・寄稿等は年間1300件を超える。著書に『里山資本主義』しなやかな日本列島のつくりかた』など。

を手伝う住民が一人、また一人と増えていく。いつの間にか畑は住民の語らいの場になり、初年度で35万円もの収益金を上げることができた。

もっとも、住民全員が豊重さんたちの活動に協力的になったわけではない。特に、集落の長老たちは豊重さんのやり方に強く反発した。長老たちも心を一つにした。長老さんが考案したのは、この集落から都会に移住した子どもたちからメッセージをもらい、敬老の日や父・母の日に集落の有線放送で流すことだった。

「15年間音信不通だった、ある長老の息子さんを探し出し、そのメッセージを高校生に代読してもらい、有線で流したんです。そしたらね、それを聴いた長老が涙を流しながら『お前には負けたよ』』と、握りしてくれました」とその時の感動をそのままに豊重さんは語る。

これを機に住民の絆が一挙に強まり、活動にも広がりが出てきた。2001年には土着菌の製造・販売を開始。これを家畜の飼料に混ぜることで、ふん尿から漂う悪臭の解消に成功した。2004年には、土着菌堆肥で栽培したサツマイモを材料に芋焼酎「やねだん」を商品化。これで自主財源はさらに増加し、2006年には、一部の住民に1万円円のボーナスを支給開始。現在では、年間約500万



集落を縦断する道路「ロマンス通り」では、「やねだん」の歴史の断片を絵にしたパネルがお出迎え! パネルは今後も増えていく予定。

※田畑や山に生息する好気性微生物の総称。

地域再生のリーダーも養成中

円の余剰金を生み出している。

「やねだん」では、各地域で活躍できる地域再生リーダーを養成すべく、2007年以降「故郷創世塾」を年2回開催している。2015年からは、「超リーダー」を養成する「故郷創世塾スーパー塾」も開講。豊重さんはリーダーの役割について「人がそれぞれ持っている才能や体験を引き出すコーディネート」といい切る。

この20年間で一番嬉しかったことは、住民が納得したうえで、自立という軸に向かってきたことだ。という。「地域づくりはみんなが主役」と繰り返し語る豊重さんのこの言葉にこそ、地域づくりの原点があるといえるだろう。

鹿屋んおじゃったもんせ

(鹿屋に、どうぞ、いらしてください)

【特定原材料】小麦、卵



お取り寄せは、こちらから TEL: 0994-42-2034

鹿児島県では「春駒」や「煎粉餅」、「あく巻き」といった餅米を使用した郷土菓子が大変人気です。その餅米を使った和洋折衷の新しい菓子として登場したのが、今回ご紹介する「鹿屋んおじゃったもんせ」です。

創業百年、菓道一筋の大黒屋3代目辻秀俊さんが、子どもでも気軽に食べられる、お餅を使ったお菓子がつくりたいと、20年前に考案。試行錯誤の末、誕生しました。

このお菓子の特徴は、なんととってもふわふわのブッセ生地と、サンドされたやわらかな羽二重餅の食感です。

「お餅のやわらかさにはこだわりました。最初は3日ほどで、餅部分が固くなってしまっていたので、お土産には適しませんでした。どうしたら、やわらかさを保てるのか、本当に悩みました」

原材料の配分を少しず

つ変えるなど、さまざまな工夫を繰り返して、現在では常温で7日間経過しても、できたての美味しさを味わえます。

「今後は、お餅の味をよもぎ味にしたり、芋味にしたり、さらにはチョコ味にも挑戦してみたいと思っています」と、少年のように瞳を輝かせる辻さん。

現在は、このお菓子のネーミング「鹿屋んおじゃったもんせ（鹿屋にどうぞ、いらしてください）」にもあるように、生まれ育った鹿屋の地を、お菓子とともにアピールしたいと、宣伝、広告活動にも力を入れています。



ここがポイント

この餅粉のきめの細かさがポイント。

プロから、ひと言！

ふんわり軽いビスキュイ生地クリームやジャムをはさんだ焼き菓子を日本では「ブッセ」と呼ぶことが多いようです。いろいろなタイプのものが出回っていますが、こちらは和菓子をまるごととはさんだ大胆な組み合わせ。たっぷり入った羽二重餅が特徴的で、これが全体をしっとり包み込みます。



料理研究家
フードコンサルタント
上村 泰子氏



かみむら・やすこ
フードライ代表。企業やレストランのフードコンサルタント、メニュー開発に長年従事し、新聞、雑誌、講演会などでも活躍。著書や監修本は60冊以上ある。簡単でヘルシーな料理提案と親しみやすい解説で人気を得ている。